

ツバメタオル 株式会社

環境や安全面に配慮した

「有機精練加工」で

体にやさしいタオルを製造

メイン
ジャパン



ツバメタオルがインドにて契約生産しているオーガニック・コットン綿畑



自然環境と人にやさしい「有機精練タオル」

化学薬品の代用に使える
食品成分を徹底的に研究

愛媛・今治と並び、国内最大のタオル産地である大阪・泉佐野。この地で日本の総生産量の約15%を占めるタオルを生産しているのが、大正2年創業の老舗メーカー・ツバメタオルだ。

泉州のタオルは加工の最終段階で洗浄を施す「後さらし」と呼ばれる製法を用いており、新品の状態でも吸収性がすこぶる高いのが特長。一般的にタオルの製造工程には接着剤や漂白剤、染色剤など多くの化学薬品が使用されるのだが、同社は環境や安全面に配慮し、1992年頃から体にやさしいタオルづくりの模索に全社をかけて取り組み始めた。「業界のオピニオンリーダーとして、安心して使っていただけの製品をつくりたかった」と重里社長。昔の製法なども参考に、1998年から製造工程の変更を本格化させた。化学薬品の代用として使える食品成分をあらゆる見地から徹底的に調べ上げたというから、そのこだわりと情熱には頭が下がる。

そんな同社の取り組みを代表するタオルの製造法であり、特許も取得済みなのが「有機精練加工」だ。従来、糸を巻く際に使用していたボールと呼ばれる化学ノリを、ジャガイモのでんぷんからつくられる天然ノリに代替した。ノリ抜き工程にも酸化ノリ抜き剤ではなく、酵素のノリ抜き剤を使用している。精練には苛性ソーダを使用せず、酵素と海綿活性炭剤を使用し、過酸化水素漂白剤で漂白するなど、工程の部始終において環境と安全への配慮を徹底している。「仕上げ工程に關しても、従来使われていた石油系柔軟剤から大豆イソフラボンに替えました。同じ白いタオルをつくるにしても、有機精練加工なら化学薬品やCO₂はもちろん、水やエネルギーの使用もグッと抑えられます」と重里社長。この功績が認められ、2008年には見事、『日経ものづくり大賞』にも輝いている。

インドの契約生産者から
有機栽培綿花を調達

工場内で働くスタッフの健康面にも配慮し、製造は全てにわたってノンホルマリン工程。日本一の生産量を誇る同社だけあって、世界一の速さで展開するエアージェット織り機やスタリオン検反機など、最新鋭機の数々が昼夜を問わずフル稼働で稼働している。また、インドの契約生産者から有機栽培でつくられたオーガニックコットンを輸入するなど、2010年からは原料調達にも取り組み始めた。安価な海外製品が台頭する昨今の逆風に立ち向かうべく、『安全と環境』にことごとこだわったタオルを追求するツバメタオル。消費者のことを第一に考えた真摯なる戦いは、これからも続く。

Company Profile

ツバメタオル株式会社

住所 〒598-0021
泉佐野市日根野7181
TEL 072-467-0561
FAX 072-467-0861
設立 昭和37年2月1日
資本金 2,000万円
従業員 67名
代表取締役 重里 豊彦

■主な事業内容
タオル製品・製造・卸業

■主な取引先
タオル製品問屋、各百貨店、都市銀行を含む各行、生命保険会社 等

<http://www3.ocn.ne.jp/~tubame>

他社には
負けない

当社のものづくり
セールスポイント



食べられるくらいに安全な
タオルづくりをめざします

代表取締役 重里 豊彦 さん

国内で初めて、当社のオーガニックコットンタオルが国際基準機関である“GOTS”より認証を受けました。インドの契約生産者と二人三脚で行っている有機綿花の栽培には、今以上に力を入れて取り組んでいきたいと思っております。